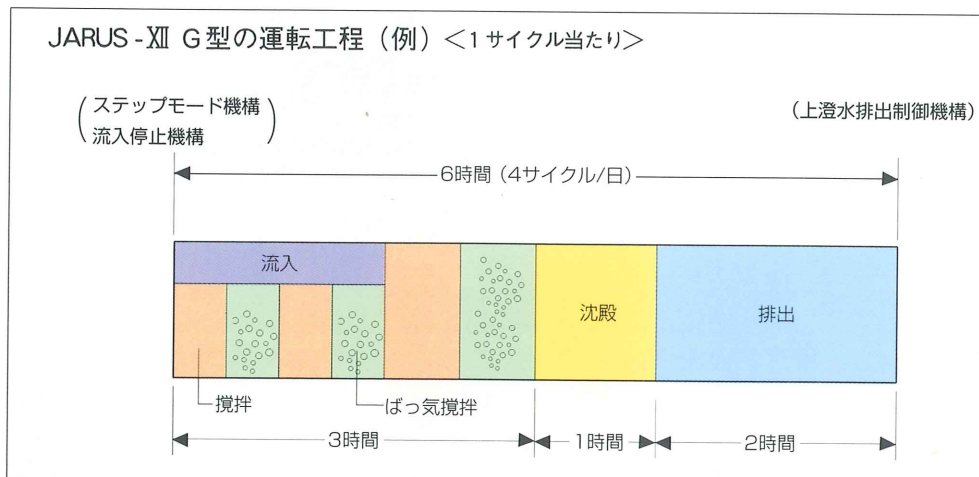


施設の特徴

この処理施設には、日本農業集落排水協会が開発した“JARUS-XII G型”が採用されています。処理方式は回分式活性汚泥法で、一つの反応槽（回分槽）で処理操作（流入・攪拌・ばっ気攪拌・沈殿・上澄水排出・汚泥の引抜き等）を、時間内に区分しながら処理するものです。

- ステップモード機構を導入し、流入汚水少量時に回分槽への汚水流入を一定時間遅らせると共に、水位計により水位を一定に保ち、処理水量の安定化と活性汚泥の良好な性状維持を通じて高度な水質が得られるようになっています。
- BOD（有機物）、SS（浮遊物質）だけでなく、T-N（窒素）、T-P（リン）も、安定した処理が可能です。
- 返送汚泥が不要で、膨化現象（バルキング）防止も期待できます。
- SL計と上澄水の排出停止機構（上澄水排出制御）の導入により汚泥の流出防止をはかり、高度な汚水処理を行うことができます。



事業の概要

排水 処理 施設	名称	下小野地区クリーンセンター		
	所在地	宇部市大字小野字山根 8293-1		
	処理対象排水	し尿および生活雑排水		
	計画処理人口	1,100人		
	計画汚水量	日平均汚水量 = 297m ³ /日		
		時間最大汚水量 = 35.8m ³ /時		
	計画水質	項目	流入水質	処理水質
		BOD	200mg/l	10mg/l以下
		SS	200mg/l	15mg/l以下
		COD	100mg/l	15mg/l以下
T-N		43mg/l	15mg/l以下	
T-P	5mg/l	3mg/l以下		
処理方式	JARUS-XII G型（回分式活性汚泥法）			
工期	平成7年9月14日～平成8年9月30日			
総事業費	417,300,000円			
管路 施設	管径	φ50mm～φ250mm		
	延長	L = 17,700m		
	流下方式	自然流下方式・真空流送方式・圧送方式		